

#### ■中国：政府、2009年7月の電力需給状況を発表

国家発改委の発表によると、2009年7月の発電電力量は前年同月比4.8%増加した。そのうち、火力は同4.5%、水力は同4.7%の増加率であった。1月から7月までの累計発電電力量は1兆9,780億kWhで、前年同期比0.7%減であった。1月から7月までの累計消費電力量は前年同期比0.9%減少した。そのうち、第一産業用は5.1%、第三次産業は10.4%、生活用は11%、それぞれ前年に比べ増加したが、全消費電力量の75%を占める第二次産業用が前年同期比4.3%減となり、全体として前年比マイナスになった。1月から7月までの発電機（火力・水力）の平均稼働時間は2,527時間で、前年同期に比べ286時間少なくなった。